

## 6. 教育課程

### ○ 修了要件(2025年4月1日以降入学者)

(カリキュラム 2019)

2年以上在籍し、次に掲げる単位を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。

### ●一般 (CNS 課程履修者以外)

#### ●共通科目 (10 単位以上)

共通必修科目 2 単位、共通選択科目 8 単位以上を修得すること。

※ 共通選択科目で修得すべき 8 単位には、他専修の専門科目のうち授業形態が講義の科目で修得した単位を含むことができる。

#### ○専門科目

・看護学専修 (20 単位以上 (うち特別研究 12 単位)) : 看護基盤科学及び看護実践科学から 8 単位以上を修得すること。

・リハビリテーション学専修 (20 単位以上 (うち特別研究 14 単位)) :

「リハビリテーション教育学 I・II」の単位を修得した場合、博士後期課程では同科目の単位を修得することができない。

「リハビリテーション教育学 I・II」は修了要件の単位に含めない。

・健康福祉科学専修 (20 単位以上 (うち特別研究 12 単位)) : 健康福祉基礎科学、健康情報実践学、社会福祉実践学及び検査技術実践学の中から 8 単位以上を修得すること。

※CNS 課程履修者以外が履修できる CNS 科目もあるため、履修を希望する場合は、事前に科目責任者に連絡をすること。

(認定社会福祉士)

本学で開講する科目の一部は、認定社会福祉士の資格取得のために必要な研修 (大学院 (教育基幹) ルート) として、認定社会福祉士認証・認定機構の認証を受けており、下表の科目及び「スーパービジョン研修 (2 単位)」を合計して 18 単位取得することが研修修了の要件となる。なお、「スーパービジョン研修 (2 単位)」は必須であるが、授業科目として本学が開講するものではない。

その他の資格取得の要件も含め、詳細は認定社会福祉士認証・認定機構のホームページを参照すること。

また、社会福祉士の資格を有し、認定社会福祉士の資格取得を希望する者に対しては受講後に修了証を交付するので、教務担当まで申し出ること。

本学で開講する、認定社会福祉士認証・認定機構の認証を受けた科目

科目名	研修認証番号	科目責任者	単位数
ソーシャルケア実践のマネジメントと研究	20240006	寫末憲子	1
ソーシャルケア実践の評価と研究	20240007	寫末憲子	1
ソーシャルワーク特論	20240013	保科寧子	2
健康福祉科学特別研究 I	20240014	小澤昭彦	6
健康福祉科学特別研究 II	20240015	小澤昭彦	6

## ●CNS 課程履修者 (2020 年 4 月 1 日以降入学者)

### ●共通科目 (2 単位以上)

共通必修科目 2 単位

### ○専門科目 (44 単位以上 (専攻分野の CNS 関連科目及び実践看護課題研究を含む。))

- ・ CNS 共通科目として、「フィジカルアセスメント」、「病態生理学」、「臨床薬理学」を修得すること。
- ・ CNS 選択科目として、「コンサルテーション論」、「看護理論」「看護研究」「看護学教育論」「看護管理システム論」「看護倫理」(以上専門科目) から 8 単位以上を修得すること。
- ・ 「実践看護課題研究」(6 単位) を履修し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。
- ・ CNS 課程の専攻分野ごとに定められた次の科目を修得すること。

**精神看護：** 「精神看護制度論」「精神科治療論Ⅰ」「精神科治療論Ⅱ」「地域精神看護論」  
「精神看護学演習」「精神看護援助法」「精神実践看護実習Ⅰ」「精神実践看護実習Ⅱ」  
「精神実践看護実習Ⅲ」「精神実践看護実習Ⅳ」

**小児看護：** 「小児健康生活論」「小児看護学特論」「小児病態・治療学」「小児保健医療福祉論」  
「小児看護学演習」「小児看護援助法Ⅰ」「小児看護援助法Ⅱ」「小児実践看護実習Ⅰ」  
「小児実践看護実習Ⅱ」「小児実践看護実習Ⅲ」

**がん看護：** 「がん看護学概論」「がん病態生理学」「がん看護学援助論Ⅰ」「がん看護学援助論Ⅱ」  
「がん看護学援助論Ⅲ」「がん看護学演習Ⅰ」「がん看護学演習Ⅱ」  
「がん実践看護実習Ⅰ」「がん実践看護実習Ⅱ」「がん実践看護実習Ⅲ」

※ 上記の CNS 関連科目を含めて、専門科目から 44 単位以上(うち看護基盤科学から 14 単位、看護実践科学ならびに看護学演習から 14 単位、看護学実習 10 単位) を修得すること。これにより、CNS 課程履修者の修了に要する単位数は 46 単位となる。

※ CNS 教育課程履修者が CNS 教育課程の履修をやめる場合は、原則として、1 年次の間に、かつデザイン発表を行う前に担当教員に許可を得て、事務局を通じて研究科長に申し出ること。なお申し出の際は、変更希望理由と変更後の研究概要が分かる資料(任意様式)を提出すること。

(デザイン発表以降は、修学上、特に必要と大学院教務委員会が認める場合に限り、教育課程の変更を可能とする。ただし、教育課程の変更に伴い、看護学演習 2 単位を新たに履修することが必要となる。教務委員会の審議で教育課程の変更が認められた場合は、研究に関連する科目として、看護学演習 2 単位を新たに履修し、実践看護課題研究Ⅰ(3 単位)を特別研究Ⅰ(5 単位)に読み替えることとする。)

※ CNS 教育課程履修者が CNS 教育課程の履修をやめて、一般(CNS 課程履修者以外)を履修する場合は、一般(CNS 課程履修者以外)の修了要件を満たすことが必要になる。看護学専門科目のうち「フィジカルアセスメント」「病態生理学」「臨床薬理学」「コンサルテーション論」については、共通科目に読み替えることができる。

## ●教職課程 養護教諭専修免許履修者（2025年4月1日以降入学者）

養護教諭専修免許状を取得するためには、修了要件を満たすとともに、以下の科目から24単位以上を修得すること。なお、養護教諭専修免許状の取得には、養護教諭一種免許状が必要です。

※養護教諭として3年以上の教員経験を有する場合、15単位の修得で専修免許状の申請が可能です。

（詳細は都道府県教育委員会に確認すること。）

※修得した単位は、修了要件に含めることができる。

※都道府県教育委員会等に「学力に関する証明書」を求められた場合は、教務担当にお問い合わせください。

### 養護教諭専修免許状取得のための養護に関する科目

#### ●共通科目

「I PW論（専門職連携実践論）①」「保健医療福祉概論」「保健医療福祉研究法特論」

「保健医療福祉とリハビリテーション」「高次脳機能と病態制御」「予防医科学特論」

「応用人体構造機能論」「養護実践特論」

※「I PW論（専門職連携実践論）①・②」のうち①を履修してください。

#### ○専門科目

##### ・看護学専修

（看護基盤科学）

「コンサルテーション論」「看護学教育論」「広域看護学特論」「フィジカルアセスメント」

「ヘルスプロモーション論」「臨床薬理学」

（看護実践科学）

「地域ケア支援論」「小児健康生活論」「小児看護学特論」「リプロダクティブヘルス論」

##### ・健康福祉科学専修

（健康福祉基礎科学）

「健康福祉社会調査論」「健康支援カウンセリング論」

（健康情報実践学）

「統計分析法」「健康運動実践学特論」

（社会福祉実践学）

「ソーシャルワーク特論」「子ども若者支援論」

### 〈単位互換〉

埼玉大学単位互換は全専修受講可、社会学分野単位互換は健康福祉科学専修（社会福祉領域）のみ受講可

【単位】

	博士前期課程		博士後期課程	
単位互換区分	区分	単位数の上限	科目区分	単位数の上限
埼玉大学大学院	共通科目	修了 4	共通科目	修了 4
	専門科目		専門科目	
大学院社会学分野 単位互換制度※	専門科目	修了 4	専門科目	修了 4

- ・ 本学の博士前期課程・博士後期課程の学生は、修了に必要な単位として本学が開講する共通選択科目または専門科目の合計 4 単位に読み替えることができる。ただし特別研究以外に本学が開講する専門科目から 2 単位以上修得することとする。単位互換はあくまで共通科目及び専門科目の選択肢を拡げることとを目的としていることから、同一の科目区分の修了に必要な単位を単位互換のみで修得することは認めない。
- ・ 健康福祉科学専修（社会福祉領域）において、大学院社会学分野単位互換制度を選択する場合、単位数の上限は 4 単位であるが、埼玉大学大学院での科目も受講する場合、大学院社会学分野単位互換制度および埼玉大学大学院での科目の単位をあわせて 4 単位を上限とする。
- ・ 他大学院の科目は本学の科目区分に当てはめて単位認定を行うこととする。埼玉大学大学院の各科目は、先方から提示された受け入れ科目を大学院教務委員会が確認し、本学の修了に必要な単位として認定できる科目について、本学の科目区分を設定する。社会学分野単位互換制度による他大学の各科目は、幹事校から示された科目一覧から、学生が履修を希望する科目を個別に指導教員に申し出ることとする。指導教員は科目の内容を確認し、修了に必要な単位として認定できる科目と認めた場合は、受け入れ先の大学院に申請を行う。社会学分野単位互換制度で修得した単位は、健康福祉科学専修（または領域）の専門科目として修了に必要な単位に認定する。
- ・ なお、単位数の上限を超えて修得した単位については、修了に必要な単位としては認定しないが、査外科目として単位を認定する。（修了に必要な単位として認定する単位と合わせて上限 15 単位まで。）
- ・ 博士前期課程の CNS 課程履修者は単位互換の対象外とする。（CNS 課程として認定を受けた科目を履修する必要があるため）

※関東圏の大学院社会学分野が参加する単位互換制度

## ○ 共通科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	科目責任者	開講場所	開講時期	時間割番号	DPとの関連(※)			CNS	備考
			必修	選択						DP1(全体)	DP2(全体)	DP3(全体)		
科必修 共通	IPW論(専門職連携実践論)①・②	1・2	2		講義	國澤 尚子	本校	前期	m01	○	◎	○	必修	※2単位必修 開講時期、内容によって①・②に分かれているため、シラバスを確認し、履修をすること。 8単位以上選択  共通選択科目で修得すべき8単位の、他専修の専門科目のうち授業形態が講義の科目で修得した単位を含むことができる。
						中村 裕美	本校	後期	m01c	○	○	◎		
科保健 福祉 医療	保健医療福祉概論	1・2	2		講義	田口 孝行	本校	前期	m02	○	◎			
	保健医療福祉研究法特論	1・2	2		講義	竹島 太郎	本校	前期	m03	◎	○	○		
統括 保健 福祉 医療	国際保健医療福祉論	1・2	2		講義	山口 乃生子	本校	前期	m15	○	◎			
	保健医療福祉とリハビリテーション	1・2	2		講義	小澤 昭彦	本校	前期	m16	○	◎			
	保健医療福祉学際英語	1・2	2		講義	中村 裕美	本校	前期	m17	○	○	◎		
	病院・介護・福祉施設運営管理論	1・2	2		講義	筒井 孝子	本校	前期	m18	◎	○	○		
保健 特 科 福祉	高次脳機能と病態制御	1・2	2		講義	田中 健一	本校	後期	m21	○		◎		
	予防医学特論	1・2	2		講義	竹島 太郎	本校	前期	m22	◎		○		
	応用人体構造機能論	1・2	2		講義	高柳 雅朗	本校	前期	m23	◎		○		
	養護実践特論	1・2	2		講義	上原 美子	本校	前期	m24	◎		○		

## ○ 専門科目【看護学専修】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	科目責任者	開講場所	開講時期	時間割番号	DPとの関連(※)						CNS	備考
			必修	選択						DP1(全体)	DP2(全体)	DP3(全体)	DP1(看護)	DP2(看護)	DP3(看護)		
看護 基 盤 科 学	看護理論	1・2	2		講義	常盤 文枝	本校	前期	mn01	◎	○		◎	○		選択	8単位以上選択
	看護研究	1・2	2		講義	飯岡 由紀子	本校	前期	mn02	◎		○	○		◎	選択	CNS課程履修者は、「フィジカルアセスメント」、「病態生理学」、「臨床薬理学」を修得すること。
	看護学教育論	1・2	2		講義	高橋 恵子	本校	前期	mn10	◎		○	◎	○		選択	また、「コンサルテーション論」「看護理論」「看護学教育論」「看護管理システム論」「看護倫理」「看護研究」から8単位以上及び専攻分野ごとに次の科目を履修しなければならない。
	看護管理システム論	1・2	2		講義	渡邊 千登世	本校	前期	mn12		◎	○	○	◎		選択	※専門科目のうち「コンサルテーション論」、「フィジカルアセスメント」、「病態生理学」、「臨床薬理学」は、CNS課程履修者として履修登録された後、一般(CNS課程履修者以外)へ課程変更して修了する場合に限り共通科目として履修することができる。
	看護倫理	1・2	2		講義	飯岡 由紀子	本校	後期	mn13a	◎		○	◎		○	選択	
	ヘルスプロモーション論	1・2	2		講義	石崎 順子	本校	前期	mc04a		◎	○	◎	○			
	広域看護学特論	1・2	2		講義	関 美雪	本校	前期	mn13c2		◎	○	◎	○			
	保健医療福祉と臨床精神医学	1・2	2		講義	金野 倫子	本校	後期	mc04b	◎	○	○	◎	○	○		
	コンサルテーション論	1・2	2		講義	森田 牧子	本校	後期	mc01	◎	○		◎	○		選択	・精神看護 「精神看護制度論」「精神科治療論Ⅰ」「精神科治療論Ⅱ」「地域精神看護論」「精神看護学演習」「精神看護援助法」「精神実践看護実習Ⅰ」「精神実践看護実習Ⅱ」「精神実践看護実習Ⅲ」「精神実践看護実習Ⅳ」
	フィジカルアセスメント	1・2	2		講義	山岸 直子	本校	前期	mc02	◎	○		◎	○		必修	
	病態生理学	1・2	2		講義	武田 美津代	本校	集中	mc03	◎		○	◎			必修	
	臨床薬理学	1・2	2		講義	田中 健一	本校	集中	mc04	◎	○		◎	○		必修	・小児看護 「小児健康生活論」「小児看護学特論」「小児病態・治療学」「小児保健医療福祉論」「小児看護学演習」「小児看護援助法Ⅰ」「小児看護援助法Ⅱ」「小児実践看護実習Ⅰ」「小児実践看護実習Ⅱ」「小児実践看護実習Ⅲ」
看護 実 践 科 学	地域ケア支援論	1・2	2		講義	善生 まり子	本校	前期	mn14	◎	○		◎	○			
	在宅看護学特論	1・2	2		講義	善生 まり子	本校	前期	mn14a	◎	○		◎	○			
	精神科治療論Ⅰ	1・2	2		講義	森田 牧子	本校	前期	mc05	◎			◎			精神	
	精神科治療論Ⅱ	1・2	2		講義	江口 のぞみ	本校	前期	mc06	◎			◎			精神	
	精神看護制度論	1・2	2		講義	江口 のぞみ	本校	前期	mn15a	◎		○	◎	○		精神	・がん看護 「がん看護学概論」「がん病態生理学」「がん看護学援助論Ⅰ」「がん看護学援助論Ⅱ」「がん看護学援助論Ⅲ」「がん看護学演習Ⅰ」「がん看護学演習Ⅱ」「がん実践看護実習Ⅰ」「がん実践看護実習Ⅱ」「がん実践看護実習Ⅲ」
	地域精神看護論	1・2	2		講義	森田 牧子	本校	前期	mc07	◎	○		◎	○		精神	
	成人看護援助論	1・2	2		講義	常盤 文枝	本校	後期	mn16	◎		○	◎		○		
	小児健康生活論	1・2	2		講義	櫻井 育穂	本校	前期	mn17a	◎	○		◎			小児	
	小児看護学特論	1・2	2		講義	横山 由美	本校	前期	mn17	◎			◎			小児	
	小児保健医療福祉論	1・2	2		講義	横山 由美	本校	前期	mn17b	◎	○		◎	○		小児	
	小児病態・治療学	1・2	2		講義	櫻井 育穂	本校	集中	mc08	◎			◎			小児	
	老年看護援助論	1・2	2		講義	丸山 優	本校	後期	mn18	◎		○	◎	○			
	リプロダクティブヘルス論	1・2	2		講義	齋藤 恵子	本校	後期	mn19	◎		○	◎	○			
	がん看護学概論	1・2	2		講義	飯岡 由紀子	本校	前期	mc09	◎		○	◎	○		がん	
	がん病態生理学	1・2	2		講義	飯岡 由紀子	本校	前期	mc10	◎		○	◎	○		がん	
がん看護学援助論Ⅰ	1・2	2		講義	飯岡 由紀子	本校	前期	mc11a	◎		○	◎	○		がん		
がん看護学援助論Ⅱ	1・2	2		講義	飯岡 由紀子	本校	後期	mc11b	◎		○	◎	○		がん		
がん看護学援助論Ⅲ	1・2	2		講義	飯岡 由紀子	本校	後期	mc11c	◎		○	◎	○		がん		

◇看護学専修の専門科目は次ページに続きます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	科目責任者	開講場所	開講時期	時間割番号	DPとの関連(※)						備考
			必修	選択						DP1(全体)	DP2(全体)	DP3(全体)	DP1(看護)	DP2(看護)	DP3(看護)	
看護学演習	精神看護学演習	1-2	2	演習	森田 牧子	本校	後期	mc14	◎		○	◎		○	精神	CNS課程履修者は、それぞれの専攻分野の看護学演習を履修しなければならない。
	精神看護援助法	1-2	4	演習	澤田 宇多子	本校	後期	mc55	◎		○	◎	○		精神	
	小児看護学演習	1-2	2	演習	横山 由美	本校	前期	mc15	◎			◎			小児	
	小児看護援助法 I	1-2	2	演習	櫻井 育穂	本校	後期	mc57a	◎	○		◎	○		小児	
	小児看護援助法 II	1-2	2	演習	櫻井 育穂	サテライト	後期	mc57b	◎	○		◎	○		小児	
	がん看護学演習 I	1-2	2	演習	飯岡 由紀子	本校	前期	mc12a	◎		○	◎	○		がん	
がん看護学演習 II	1-2	2	演習	飯岡 由紀子	本校	後期	mc12b	◎		○	◎	○		がん		
看護学実習・特別研究	看護学特別研究 I	1-2	6	演習	國澤尚子	本校	通年	mn60c	○		◎	○		◎	CNS課程履修者を除く	
	看護学特別研究 II	1-2	6	演習	國澤尚子	本校	通年	mn60d	○		◎	○		◎		
	精神実践看護実習 I	1-2	2	実習	森田 牧子	本校	集中	mc45a	◎	○		◎	○		精神	CNS課程履修者は、それぞれの専攻分野の実践看護実習及び実践看護課題研究を履修しなければならない。
	精神実践看護実習 II	1-2	2	実習	森田 牧子	本校	集中	mc45b	◎	○		◎	○		精神	
	精神実践看護実習 III	1-2	4	実習	森田 牧子	本校	集中	mc45c	◎	○		◎	○		精神	
	精神実践看護実習 IV	1-2	2	実習	森田 牧子	本校	集中	mc45d	◎	○		◎	○		精神	
	小児実践看護実習 I	1-2	2	実習	櫻井 育穂	本校	集中	mc47aa	◎	○		◎	○		小児	
	小児実践看護実習 II	1-2	2	実習	櫻井 育穂	本校	集中	mc47b	◎	○		◎	○		小児	
	小児実践看護実習 III	1-2	6	実習	櫻井 育穂	本校	集中	mc47cc	◎	○	○	◎	○		小児	
	がん実践看護実習 I	1-2	2	実習	飯岡 由紀子	本校	集中	mc13a	◎	○		◎	○		がん	
	がん実践看護実習 II	1-2	4	実習	飯岡 由紀子	本校	集中	mc13b	◎	○		◎	○		がん	
	がん実践看護実習 III	1-2	4	実習	飯岡 由紀子	本校	集中	mc13c	◎	○		◎	○		がん	
	実践看護課題研究 I	1-2	3	演習	飯岡 由紀子	本校	通年	mc60a	○		◎	○		◎	必修	
実践看護課題研究 II	1-2	3	演習	飯岡 由紀子	本校	通年	mc60b	○		◎	○		◎	必修		

### ○ 専門科目【リハビリテーション学専修】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	科目責任者	開講場所	開講時期	時間割番号	DPとの関連(※)						備考
			必修	選択						DP1(全体)	DP2(全体)	DP3(全体)	DP1(リハ)	DP2(リハ)	DP3(リハ)	
リハビリテーション基礎科学	臨床リハビリテーション研究法	1-2	2	講義	小栢 進也	本校	前期	mr40	○	○	◎	○		◎	リハビリテーション教育学 I 及び II の単位を修得した場合、博士後期課程では、同科目の単位を修得できない。 リハビリテーション教育学 I 及び II は修了要件の単位に含めない。	
	中枢神経系の組織学的研究法	1-2	2	講義	高柳 雅朗	本校	後期	mr41	◎		○	◎	○			
	障害基礎解析学特論	1-2	2	講義	金村 尚彦	本校	前期	mr11	◎		○	◎	○			
	運動解析学特論	1-2	2	講義	山崎 弘嗣	本校	前期	mr12	◎	○	○	◎	○			
	障害予防学特論	1-2	2	講義	小栢 進也	本校	前期	mr13	○	◎	○	○	◎	○		
リハビリテーション応用科学	運動器障害治療学特論	1-2	2	講義	高崎 博司	本校	前期	mr14	◎		○	◎	○	○		
	内部機能障害治療学特論	1-2	2	講義	木戸 聡史	本校	前期	mr15	○	○	◎	○	○	◎		
	生活環境支援系理学療法学特論	1-2	2	講義	田口 孝行	本校	前期	mr16	○	○	◎	○	◎			
	機能適用支援系作業療法学特論	1-2	2	講義	濱口 豊太	本校	前期	mr17	○	○	◎	◎	○	○		
	生活環境支援系作業療法学特論	1-2	2	講義	小池 祐士	本校	前期	mr18	◎		○	◎	○	○		
	行動神経作業療法学特論	1-2	2	講義	濱口 豊太	本校	前期	mr19		○	◎	◎	○	○		
脳機能作業療法学特論	1-2	2	講義	中村 裕美	本校	後期	mr22	○	○	◎	◎	○	○			
修了要件	リハビリテーション教育学 I	1-2	2	講義	濱口 豊太	本校	前期	mr20	◎	○		○	◎			リハビリテーション教育学 I 及び II の単位を修得した場合、博士後期課程では、同科目の単位を修得できない。 リハビリテーション教育学 I 及び II は修了要件の単位に含めない。
	リハビリテーション教育学 II	1-2	2	講義	中村 裕美	本校	後期	mr21	○	○	◎	○	◎	○		
研 究 別	リハビリテーション学特別研究 I	1-2	7	演習	今北 英高	本校	通年	mr60c	○	○	◎	◎	○			
	リハビリテーション学特別研究 II	1-2	7	演習	今北 英高	本校	通年	mr60d	○	○	◎	◎	○			

## ○ 専門科目【健康福祉科学専修】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	科目責任者	開講場所	開講時期	時間割番号	DPとの関連(※)						備考
			必修	選択						DP1(全体)	DP2(全体)	DP3(全体)	DP1(健福)	DP2(健福)	DP3(健福)	
社会科学基礎	健康福祉社会調査論	1-2	2	講義	若林 テヒロ	本校	前期	mh03	○	○	◎	○	◎	○	健康福祉基礎科学、健康情報実践学、社会福祉実践学及び検査技術実践学の中から8単位以上を修得すること。	
	健康支援カウンセリング論	1-2	2	講義	大塚 斉	本校	後期	mh05	◎	○		◎	○			
実践情報	健康運動実践学特論	1-2	2	講義	八十島 崇	本校	前期	mh18		◎		◎				
	定性的研究法	1-2	2	講義	本間 三恵子	本校	後期	mh52		○	◎	◎		○		
	統計分析法	1-2	2	講義	延原 弘章	本校	前期	mh53	○	○	◎	○	○	◎		
	データヘルス特論	1-2	2	講義	津野 陽子	本校	後期	mh54	◎	○		◎	○			
	政策評価論	1-2	2	講義	柴田 亜希	本校	前期	mh55	◎	○		◎	○			
	地域課題研究	1-2	2	演習	北島 義典	本校	通年	mh56		○	◎	◎	○			
社会福祉	社会保障政策論	1-2	2	講義	石崎 浩	本校	前期	mh32	◎		○	◎		○		
	地域包括ケアシステム論	1-2	2	講義	筒井 孝子	本校	後期	mh31	○	◎	○	○	◎	○		
	ソーシャルワーク特論	1-2	2	講義	保科 寧子	本校	後期	mh23	○		◎	○		◎		
	子ども若者支援論	1-2	2	講義	林 恵津子	本校	前期	mh29	○		◎	◎	○			
	ソーシャルケア実践のマネジメントと研究	1-2	1	講義	篤末 憲子	本校	後期	mh51	○	◎	○	○	◎	○		
	ソーシャルケア実践の評価と研究	1-2	1	講義	篤末 憲子	本校	前期	mh50	○	○	◎	◎	○	○		
	保健医療福祉と臨床精神医学	1-2	2	講義	金野 倫子	本校	後期	mc04b	◎	○	○	◎	○	○		
検査技術	病因病態検査学	1-2	2	講義	村井 美代	本校	前期	mh27	◎		○			◎		
	生体情報評価学	1-2	2	講義	久保田 亮	本校	前期	mh28	◎	○	○	◎	○	○		
研究特別	健康福祉科学特別研究Ⅰ	1-2	6	演習	小澤 昭彦	本校	通年	mh60c	◎		○	◎		○		
	健康福祉科学特別研究Ⅱ	1-2	6	演習	小澤 昭彦	本校	通年	mh60d	◎		○	◎		○		

(※)DPとの関連

◎:一番関連があるDP

○:関連があるDP

<博士前期課程DP(全体)>

DP1:職業人、教育者又は研究者として、保健医療福祉分野の専門的知識と技術を修得している

DP2:学際的な視野を持ち、保健医療福祉に関する連携を推進する能力を身につけている

DP3:当該分野の学術的な情報の理解と活用ができ、それらを発信する能力を身につけている

<博士前期課程DP(看護)>

DP1:現場での実践を理論的に説明でき、専門的知識と技術を看護実践に活用できること

DP2:臨床・教育・研究現場においてリーダーシップを発揮し、主体的に専門職連携(IPW:Interprofessional Work)の実践活動ができること

DP3:倫理原則に基づく研究の過程を理解し、自らの研究成果を発信することができること

<博士前期課程DP(リハ)>

DP1:リハビリテーションにおける理学療法または作業療法の分野において、対象者の心身機能や能力を高めるための専門的な知識と技術を活用できること

DP2:臨床・教育・研究現場でリーダーシップを発揮するとともに、多職種と連携し、組織や機関において経営や管理に貢献できること

DP3:新たなリハビリテーション治療法や評価法、医療器具・機器を開発、発信するなどの意欲を持ち、実践できること

<博士前期課程DP(健福)>

DP1:健康科学と社会福祉学の分野にまたがる包括的な課題解決のために専門的な知識と技術を身につけて高度な実践を展開できること

DP2:実践・教育・研究現場において、リーダーシップを発揮するとともに、多職種と連携し、組織や機関において経営や管理に貢献できること

DP3:新たな手法・援助方法や資源の開発・普及に取り組めること